

HARUYAMA REPORT

株式会社はるやまホールディングス

第49期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



Top Message



当たり前のことを
当たり前になり
必要とされる企業になる

代表取締役社長

中村 宏明

第49期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより経済活動の正常化に向けた動きがみられたものの、一方では、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安の進行等により、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界におきましても、消費マインドが徐々に復調する兆しがありましたものの、エネルギー価格・物価上昇などの影響により、個人消費は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、「健康」をキーワードとした差別化戦略を継続してまいりました。

商品面では、環境に配慮した取り組みとして、オリジナルブランドの「TOKYO RUN」から生地の一部に再生ポリエステルを使用した「TOKYO RUN×SUSTAINABLE(サステナブル)」セットアップをP.S.FA店舗及びオンラインショップで発売しました。このセットアップは、お手頃な価格でサステナブルな取り組みに気軽に参加していただけるビジネスウェアとして、

2022年1月より春夏シーズン向け第一弾を販売開始し、秋冬シーズン向けにデニムライクデザインとグレンチェック柄等の計6色を追加発売しました。また、「ECOアイシャツ」では、生地に再生ポリエステルを採用するとともに、包装資材をバイオマス素材に一押し、はるやま店舗及びオンラインショップで発売しました。

店舗数に関しましては、グループ全体で2店舗新規出店した一方で、17店舗を閉店した結果、当第2四半期連結会計期間末の総店舗数は396店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高146億5千9百万円(前年同期比10.9%増)となりました。増収及び売上総利益率の改善に加えて、販売費及び一般管理費の削減を積極的に行った結果、営業損失11億1千7百万円(前年同期は営業損失36億5千9百万円)、経常損失9億1千6百万円(前年同期は経常損失34億3千5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失12億9百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失35億2千8百万円)の結果となりました。

今期の見通しについて

今期の見通しといたしましては、新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ情勢の動向など、依然として先行き不透明な経営環境が続くものと予想されます。

こうしたなか当社グループでは、「健康」をキーワードとして他社との差別化戦略を進めつつ、引き続き不採算店舗の整理、店舗リースの推進並びに本部機能の適正化等による財務体質の改善に積極的に取り組み、ステークホルダーのみなさまの信頼回復を目指してまいります。

みなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結業績ハイライト

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 通期



TOPICS トピックス

01 「はるやま」から
包装資材をリニューアルした
「ECOアイシャツ」が登場

「はるやま」は、海洋プラスチックゴミ問題に対応して、ペットボトルを再利用した生地・ボタンを使用した「ECOアイシャツ」の包装資材をバイオマス素材にリニューアルしました。「アイシャツ」の特長である完全ノーアイロン、360度ストレッチ、吸水速乾などの機能は維持し、着用時の快適さはそのままに、気軽にエコ活動に参加していただけるシャツとなっています。

今後も、環境に配慮した商品開発を目指してまいります。

02 「P.S.FA」から
REDA(レダ)社の生地を使用した
アイテムを多数ラインナップ

「P.S.FA」は、上質で高級感のあるREDA社(イタリア製)の生地を採用した、メンズスーツ、メンズジャケット、メンズパンツ、レディスセットアップの新商品を全国のP.S.FA店舗及びオンラインショップにて販売開始しました。

生地こだわりの、上品なツヤや肌触りの良い柔らかさを気軽に楽しみいただける1着となっています。

今後も、品質にこだわったオシャレな商品展開を推進してまいります。

03 「フォーエル」から
「ラージダイバーシティ」を
テーマにWEB CMをリリース

「フォーエル」は、SNSや店舗を通じてユーザーのみなさまの声に耳を傾け、サービスやアイテムを一緒に作りあげていく取り組みを始動し、「ラージダイバーシティインタビュー」のWEB CMを公開しました。

今後も、すべての人に、「ファッションに正解はない。自分らしく、おほかでいこう。」というメッセージを発信しながら、L&PEACEなチャレンジを続けてまいります。



CORPORATE DATA / STOCK INFORMATION

会社情報 / 株式情報

(2022年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社はるやまホールディングス
設立	1974年11月6日
資本金	39億9,136万8,000円
本社	岡山市北区表町一丁目2番3号
主な事業内容	グループ戦略立案及び各事業会社の統括管理及び不動産賃貸借
役員	取締役 会長 治山 正史
	代表取締役 社長 中村 宏明
	取締役 清水 夏子
	取締役 井上 重光
	常勤監査役 澤味 聡嗣
	監査役 中川 雅文
	監査役 光岡 敬一
主な子会社 (※は非連結)	はるやま商事株式会社 株式会社モリワ 株式会社ミック 株式会社マンチェス 株式会社ミッド・インターナショナル 田原コンサルト株式会社※ スネイルジャパン株式会社※
従業員数	連結 1,300名 単体 21名

■ 株式情報

発行可能株式総数	55,000,000株
発行済株式の総数	16,485,078株 (うち自己株式 128,204株)
株主数	26,693名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社はるか	1,810,000	11.06
治山 正次	1,759,456	10.75
治山 邦雄	1,498,722	9.16
有限会社岩淵コーポレーション	1,324,500	8.09
株式会社四国銀行	765,840	4.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	618,500	3.78
治山 正史	487,072	2.97
はるやま社員持株会	397,231	2.42
治山 美智子	358,892	2.19
岩淵 典子	349,900	2.13

(注)持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 実施する場合は、毎年9月30日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所(スタンダード市場)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。 公告掲載アドレス http://www.haruyama.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による 公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が開始され、2023年3月1日以降に開催される株主総会にかかる株主総会資料につきましては、当社からご案内するウェブサイト上でご覧いただくことを原則とし、例外として、所定の方法によりあらかじめお申出(書面交付請求)をいただいた株主さまに限り、書面でお送りすることとなりました。詳しくは以下へお問い合わせください。

(電子提供制度専用ダイヤル) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-696-505(通話料無料)

株主優待制度

100株以上ご所有の方へ

15%割引券

ネクタイ または ワイシャツ
ブラウス

贈呈券 1枚進呈!

(注)贈呈券は税込6,600円以下の商品が対象となります。なお、税込6,600円を上回る商品には、差額をお支払いいただけます。

※毎年3月31日時点の株主さまに6月末頃発送いたします。



●所有株数に応じて15%割引券進呈!

100株～	499株	2枚
500株～	999株	4枚
1,000株～	2,999株	6枚
3,000株～		10枚